

週間漁海況情報—第26号

平成24年7月2日

内容は水産研究所ホームページ <http://www.green.pref.tokushima.jp/suisan/> で公開され、毎週月曜日夜間に更新します。

徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究所

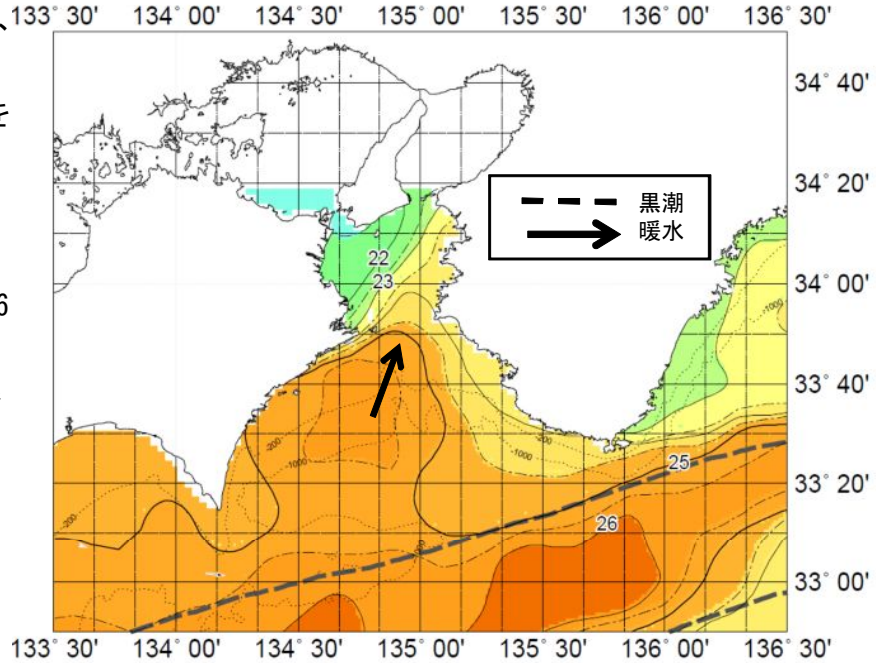
1. 海況の経過

右に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県及び和歌山県が共同で作成した海況図（H24.7.2）を示した。

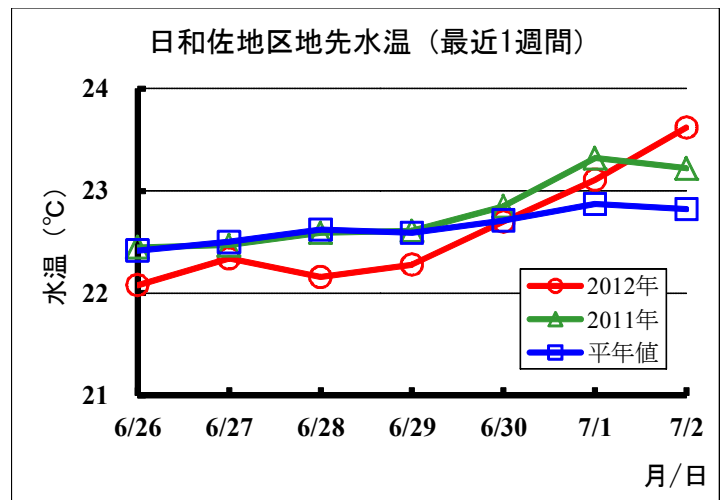
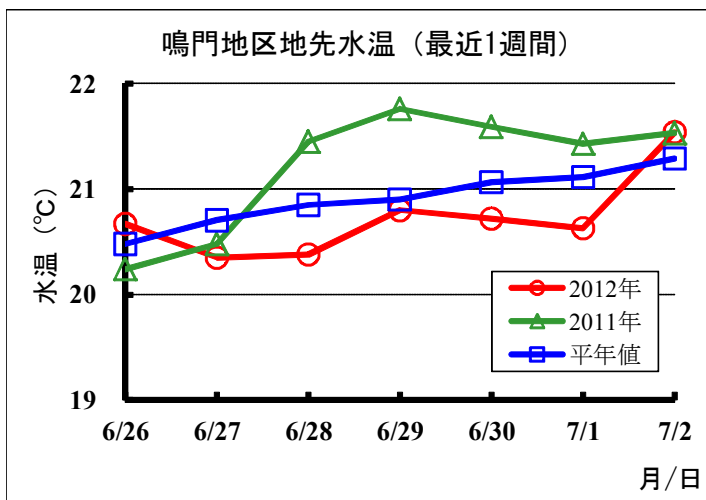
黒潮は、室戸岬沖でやや離岸、潮岬沖で接岸している。

黒潮本流の表面水温は、24～26℃台である。徳島沿岸の表面水温は、播磨灘で21℃台、紀伊水道で21～24℃台、海部沿岸で23～25℃台である。

紀伊水道外域では、室戸岬側から暖水流入があり、海部沿岸は広く暖水に覆われている。



地先水温 最近1週間の地先水温は、鳴門地区は「やや低め」～「平年並み」の20.4～21.5℃、日和佐地区は「やや低め」～「やや高め」の22.1～23.6℃、牟岐地区は「平年並み」～「高め」の22.5～25.1℃で推移した。



* 水温偏差の目安

平年並み：±0.49以下、やや高め（やや低め）：±0.50～1.49、高め（低め）：±1.50～2.49、かなり高め（かなり低め）：±2.50以上

2. 漁況の経過

小型定置網：海部沿岸で、マイワシが4.3トン（1日1隻当たり159kg）、ウルメイワシが0.8トン（同27kg）、マメ・小小主体にマアジが1.2トン（同32kg）、トビウオ類が0.5トン（同14kg）、カマス類が0.4トン（同13kg）水揚げされた。

大型定置網：海部沿岸で、小主体にマアジが5.3トン（同1,325kg）、中・大主体にゴマサバが0.3トン（同72kg）、小小主体にサバ類が1.6トン（同410kg）、マイワシ主体にイワシ類が1.9トン（同469kg）、大・中主体にイサキが0.4トン（同90kg）、大主体にカツオが0.2トン（同51kg）水揚げされた。

釣り：海部沿岸で、大・中主体にカツオが2.0トン（同401kg）、中主体にキハダが2.2トン（同446kg）、紀伊水道で、特大主体にタチウオが0.4トン（同12kg）水揚げされた。

パッチ網：紀伊水道で、シラスが36.4トン（同294kg）水揚げされた。

漁業種別集計表（抜粋） 6月25日～7月2日

県下6漁協から聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
小型定置網	海部沿岸	マイワシ	27	4,280	159	
		ウルメイワシ	28	763	27	
		マアジ	38	1,224	32	マメ・小小主体
		トビウオ類	35	495	14	
		カマス類	31	409	13	
大型定置網	海部沿岸	マアジ	4	5,300	1,325	小主体
		ゴマサバ	4	288	72	中・大主体
		サバ類	4	1,639	410	小小主体
		イワシ類	4	1,875	469	マイワシ主体
		イサキ	4	360	90	大・中主体
		カツオ	4	202	51	大主体
釣り	海部沿岸	カツオ	5	2,003	401	大・中主体
		キハダ	5	2,232	446	中主体
パッチ網	紀伊水道	タチウオ	36	421	12	特大主体
		シラス	124	36,425	294	

昨年同時期の主な漁獲傾向：昨年6月27日～7月3日においては、海部沿岸では、小型定置網で、ウルメイワシが0.8トン、カタクチイワシが0.3トン、トビウオ類が0.2トン、小小・小主体にマアジが2.8トン、マイワシが0.2トン、大型定置網で、特大主体にイサキが1.0トン、イワシ類が1.4トン、小主体にゴマサバが0.6トン、小主体にシイラが7.2トン、ブリが0.6トン、メジロが1.2トン、大主体にマアジが2.4トン、中主体にマダイが0.2トン、マルソウダが0.9トン、紀伊水道では、パッチ網でシラスが0.8トン水揚げされた。

週間予報：黒潮は、室戸岬沖で「やや離岸」～「接岸」、潮岬沖で「接岸」で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地先で「平年並み」の21～22℃台、日和佐地先で「平年並み」～「やや高め」の23～24℃台で推移する見込み。